

共栄小学校

いしむら きい 石村 希依 さん、 もんでん はやと 門傳 颯人 さん

今回は、令和6年3月31日を最後に閉校することとなった共栄小学校の石村希依さん（6年生）と門傳颯人さん（3年生）のお二人にお話を聞きました。

共栄小学校で過ごしてきた中で、一番思い出に残っている授業や行事について聞くと、石村さんは「学校に宿泊する親子キャンプが思い出に残っています。新型コロナウイルス感染症の影響と人数が少ない関係で3年連続で宿泊ができなかったのですが、家族や先生方などと一緒に出店をやったりしたのが楽しかったです」、門傳さんは「冬の行事が好きでした。特に親子スキーは枝幸町のスキー場まで行ったりしたことが遠足みたいで楽しかったです」普段の行

事が児童二人ということもあって、地域の人たちが参加して一緒に取り組む行事が好きだったと笑顔で話してくれました。

これから頑張っていきたいことについて聞くと、石村さんは「中学生になり、新しい環境で過ごすことに不安はありますが、勉強や部活などを頑張りたいです」、門傳さんは「なるべく早く雄武小学校での生活に慣れて、勉強や卓球を継続して頑張っていきたいです」とこれからの意気込みについて話してくれました。

母校である共栄小学校で学んできたことを胸に、未来に向けて歩んでいくことを願っています。



Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～



↑石村 希依さん



↑門傳 颯人さん



↑休み時間の様子

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

▼日が長くなって春の陽気を感じる一方、冬の名残の肌寒さを感じますね。春は、日々の寒暖差や低・高気圧が頻繁に入れ変わる気圧変動が大きい季節で、自律神経が乱れやすいそうです。このような症状を予防するためにも、朝食は必ず食べて、ゆっくり長くできる運動を心掛けましょう（松井）

◆編集後記

Editor's note

▼4月といえば、新年度ということで変化が多い月だと思います。私もこの度、広報制作から離れることになりました。町民皆さんの取材などの協力があり、広報を発行することができていました。この場を借りて皆さんにはお礼を申し上げます。大変お世話になりました。（結城）